学校運営協議会議事録

校名	大阪府教育センター附属高等学校
(准)校長名	福本　美紀

開催日時	令和8年11月13日(金)　15:00　～　17:00
開催場所	大阪府教育センター附属高等学校　1号棟3階　探究図書館
出席者(委員)	委員6名
出席者(学校)	校長、本校教頭、分校教頭、本校首席(2)
傍聴者	大阪府教育センター(カリキュラム開発部部長、高等学校教育推進室長、高等学校教育推進室指導主事)
協議資料	
備考	

議題等(次第順)

(1)教職員研修、校長通信等について(校長)
(2)再編計画(本校)について(本校教頭)
(3)窓明分校について(分校教頭)
(4) 授業研究について(授業研究委員会)
(5)進路指導について(首席兼進路指導主事)
(6)国際交流について(国際交流委員会)
(7)使用教科書選定状況について(教務部)
(8)広報・地域連携について(学校魅力化推進事業)(首席)
(9)探究ナビについて(首席)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

(1)教職員研修、校長通信等について(校長)
・職員会議の冒頭に教員向けに研修を行っている
・生徒向け・教員向けに校長通信を作成
(2)再編計画(本校)について(本校教頭)
・『ちがいを認め合い一人ひとりの自分らしさで未来を開く学校』をめざす
・スクール・ミッションならびにスクール・ポリシーの確認と公立高等学校入学者選抜に係る学校特色枠について
・再編計画PT(第3期)の会議報告(生徒主体の学校づくり／教員対象AI研修／制服等の検討)
・学校教育自己診断の質問内容について
＜委員より＞
・制服の価格高騰への対応は検討が必要
　→制服の魅力化と価格高騰は常に天秤にかける必要があることや素材や色についても検討が必要との意見をいただいた
・週31時間から週30時間への移行は組織的に合意を得るまでに困難さがあったのではないか
(3)窓明分校について(分校教頭)
・学びの多様化学校とは
・現在の取組み(窓明分校の特色と学びのアクセスセンターLACOとの接続について)
・具体的な学びについて(もう一度学びたいと思える学校づくり・教育課程の展開)
・転入学および学校説明会等のスケジュールについて
＜委員より＞
・学生スタッフの募集についての確認
・Ready TimeとRe:flectionは実際にどのように運用しているのか
　→(学校より)全教員がそれぞれの専門性を生かして、安心して自分と向き合い、他者と関りを持つことができるように運用している
・保護者との連携についての確認
　→保護者の方は行事に参加してくださるなど、本校の教育活動に多大なご理解をいただいている
　→日常の相談が少ないことから、本校の教育活動に対して一定の安心をいただいていると評価している
(4) 授業研究について(首席:授業研究委員会)
・第2回校内研修に向けた相互授業見学や実践研究の取り組みについて
・授業デザインシートの作成と活用について
(5)進路指導について(首席兼進路指導主事)
・14期生(3年生)の進路状況について
・学校斡旋就職について
・今年度の重点取組み事項について
＜委員より＞
・進路指導のDX化に向けた課題についての確認
　→多様な進路に対応することは必要であるが、例えば面接指導アプリなどを利用する場合は利用者負担となるかという、運用に関するご質問をいただいた
(6)国際交流について(首席:国際交流委員会)
・今年度のオーストラリア語学研修の実施状況とHeath Field High Schoolとのパートナーシップ共同声明の締結について
・長期留学支援について
(7)使用教科書選定状況について(首席:教務部)
・令和9稔夫使用教科用図書選定理由書について
・令和9年度使用教科書(選定・採択)一覧表について
(8)広報・地域連携について(学校魅力化推進事業)(首席:広報委員会)
・パンフレット／ポスター／HPの一新
・学校魅力化推進事業について
＜委員より＞
・地域との関わり方についての助言
　→学校が地域の魅力の一つになってほしい、特に里山再生は地域を巻き込む魅力となると評価をいただいた
　→里山再生に必要なリソースについて、専門家への接続へ助力のお申し出や、整備に伴ってお手伝いしたいとのお申し出をいただいた
　→中学生にとっても、高校でどのようなことを学び、探究するかが伝わりやすく、中学校としても地域との関りを考えたいとの評価をいただいた
(9)探究ナビについて(首席:探究委員会)
・「個別最適な学び推進校」に向けた探究ナビの再設計について
・個別最適な学び(自らの魅力を伸ばす)と協働的な学び(様々な資質・能力を育む)を両輪に展開
＜委員より＞
・これまでの実践の蓄積を魅力とした発展方法についての助言
　→16年続けてきた探究の知見、そのなかでも演劇的手法や組織的に探究に取り組む文化は他にはない財産として、今後も大切にしてほしい
　→日常の本当に小さな行動にも疑問を持ち、問いを立てて探究できるような学校になってほしい
　　その積み重ねが生徒主体の学校づくりに結実するだろう

次回の会議日程

日時	令和9年2月12日(金)15:00～
会場	大阪府教育センター附属高等学校　1号棟3階　探究図書館